

中期経営計画 『SCBストラテジー2025』

トップメッセージ

～ 地域の『ものがたり』を明日へとつなぐ～

日本はいま、転換点を迎えています。雇用や所得環境の改善、そして“金利ある世界”の到来により、日本経済に好循環の流れが生まれる一方、人口および中小企業数の減少、さらには自然災害の激化など、地域が抱える課題は多様化・複雑化しています。

私たちには、地域の輝く未来を切り拓くという強い使命があります。

全国各地の信用金庫は、地域とともに歴史を歩み、課題解決を通じて、地域固有のユニークで魅力的な価値を数多く創出してきました。私たち信金中金は、信用金庫の中央金融機関として、既成概念に囚われることなく迅速果敢に挑戦し、「信用金庫とともに“1つの金融グループ”として地域経済社会の成長を牽引する」ことで、新たな未来を紡ぐことができると信じています。

こうした想いのもと、新たに策定した中期経営計画『SCB戦略2025』では、「信用金庫」「地域」「信金中金」をテーマとする3つの戦略を掲げ、大切にしている取組姿勢“トライ＆ラーンの実践”を通じて、役職員一丸となって各種施策に全力で取り組んでまいります。

私たちは、信用金庫の中央金融機関としての役割をこれまで以上に発揮し、信用金庫とともに地域経済社会の持続的な成長を実現していきます。



理事長
柴田 弘之

I. 目指す姿の実現に向けて

2030年までに目指す姿	4
私たちの想い	5
私たちの目指す“1つの金融グループ”	6
私たちの取り組む社会課題（グループマテリアリティ）	7

II. 中期経営計画『SCBストラテジー2025』

『SCBストラテジー2025』の全体像	9
ストラテジー1「信用金庫の経営基盤の強化」	10
取組みの方向性・重点施策	11
ストラテジー2「地域の持続可能性の向上」	12
取組みの方向性・重点施策	13
ストラテジー3「信金中金の成長」	14
取組みの方向性・重点施策	15
財務目標および非財務目標（代表的なKPI）	16

2030年までに目指す姿

信用金庫とともに“1つの金融グループ”として
地域経済社会の成長を牽引する

<目指す姿への共感・共鳴に向けたアプローチ>

私たちの想い

私たちの目指す“1つの金融グループ”

私たちの取り組む社会課題

私たちの想い

～ 地域の『ものがたり』を明日へとつなぐ～

それぞれの地域の想いから生まれた信用金庫は、Face to Faceで地域に寄り添い、日本の原動力である中小企業や人々の暮らし、その土地固有の産業や文化・伝統といった日本をかたち創る『ものがたり』の紡ぎ手として、地域のステークホルダーとともに、地域経済社会の発展に貢献してきた。

私たち信金中金は、そんな信用金庫の想いから生まれたOnly1の金融機関であり、業界のセントラルバンクとして、信用金庫とともに歩み、日本の発展に尽力してきた。

今、わが国は、人口および中小企業数の深刻な減少、気候変動といった様々な問題に直面しており、大切に継承されてきた地域の『ものがたり』が失われてしまうかもしれない瀬戸際に立っている。

地域とともに歩む信用金庫は、地域の明日を創り、日本の未来を守るために、目の前にある危機に立ち向かっていかなければならない。

そのため、私たちは、既成概念に囚われることなく迅速果敢に挑戦し、信用金庫と“1つの金融グループ”として成長することで、日本を支える地域を力強く牽引していく。

信用金庫が地域において必要不可欠な存在（最も信頼される金融機関）となるため、私たちは走り続け、地域、そして日本の『ものがたり』を明日へとつないでいく。

私たちの目指す“1つの金融グループ”

信用金庫とともに“1つの金融グループ”として地域経済社会の成長を牽引する

地域のステークホルダー（中小企業、個人、地方自治体等）

“信用金庫らしさ”を活かした営業活動を持続的に展開

- ▶ Face to Face（地域密着・親しみやすさ）
- ▶ 顧客本位（相互扶助・非営利）
- ▶ 機動性・柔軟性

信金中金

ミドル・バック業務の集約・効率化

外部機関とのネットワーク

信用金庫

フロント業務へのさらなる特化

役職員10万人の知の集積

業界団体等と連携した様々な取組みにより、“信用金庫らしさ”を発揮できる有機的な業務運営基盤を構築

共同化

DX・
デジタル化

知の共有

経営
コンサルティング

人財育成

商品・
サービス提供

私たちの取り組む社会課題

信金中金グループの重要な社会課題（マテリアリティ）を以下の7項目とし
事業活動を通じて社会的なインパクトを実現する

地域産業の発展と 日本の成長

- ◆ 中小企業の稼ぐ力の強化
- ◆ ファイナンスを通じた持続可能な社会への貢献

人口減少・少子高齢化社会 のニーズへの対応

- ◆ 中小企業の後継者不足・人手不足への対応の強化
- ◆ 個人の資産形成・承継の強化

環境問題への地域一体 となった取組み

- ◆ 地域・中小企業の脱炭素化の促進
- ◆ カーボンニュートラルへの貢献

地域社会の持続的な 成長と日本の成長

信用金庫業界の 持続的な成長

信用金庫のセントラルバンク としての金融安定化への取組み

- ◆ 信用金庫の経営基盤の強化
- ◆ 信用金庫の業務継続態勢の強化
- ◆ 信用金庫のDX化・業務効率化の促進

人財の活躍と成長

- ◆ 信用金庫職員向け育成機会の拡充
- ◆ 活躍する人財の創出

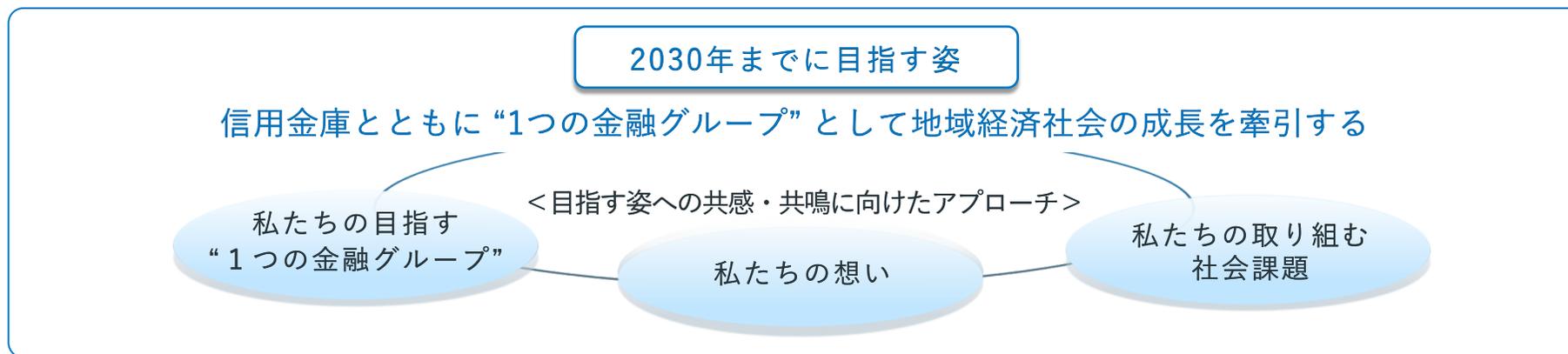
働きがいのある職場づくり

- ◆ エンゲージメントの向上

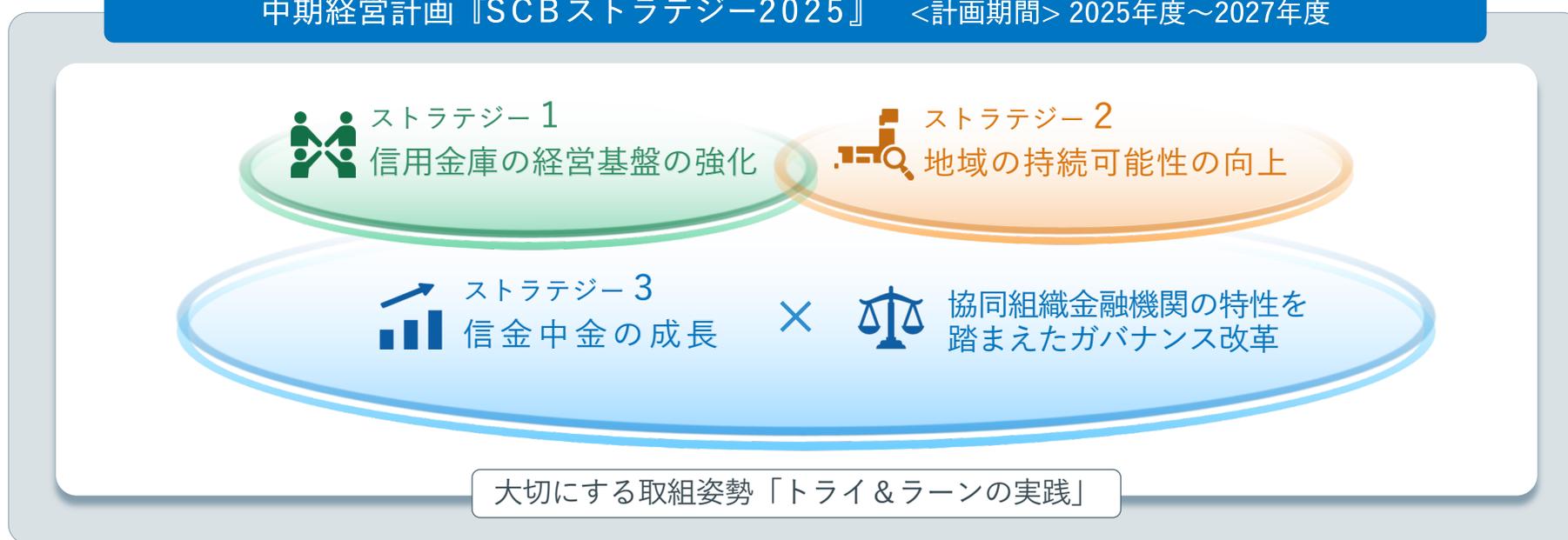
ガバナンスの強化

- ◆ 経営の公正性・透明性の確保
- ◆ グループ経営管理体制の強化

II. 中期経営計画『SCBストラテジー2025』



中期経営計画『SCB戦略2025』 <計画期間> 2025年度～2027年度



<< ありたい未来 >>

- 信用金庫が、強みである“信用金庫らしさ”を活かした営業活動を持続的に展開し、課題解決を通じて、地域において最も信頼される金融機関として高い存在感を発揮している未来

考え方

- 地域の持続的な成長を支えていくためには、地域金融を担う信用金庫が、より強固で盤石な経営基盤（財務・収益・人財）を構築していく必要がある。
- 信金中金は、業界団体等と連携し、“信用金庫らしさ”を発揮できる生産性の高い業務運営基盤を構築するとともに、個々の信用金庫の特性を踏まえたきめ細かな経営コンサルティング活動と信用金庫役職員の人財育成を通じて、グループ一体となって信用金庫の経営基盤を強化する。

<< 環境・課題認識 >>

- “金利ある世界”の到来
- 雇用市場の流動化
- 中小企業の廃業・倒産の増加
- 顧客ニーズの多様化・高度化
- ネット銀行等との競合激化
- 信用金庫の預貸金の伸び悩み 等

主要な取組み

信用金庫経営を支える
コンサルティングの強化



信用金庫の生産性の高い
業務運営基盤の構築



信用金庫の
人財育成の強化

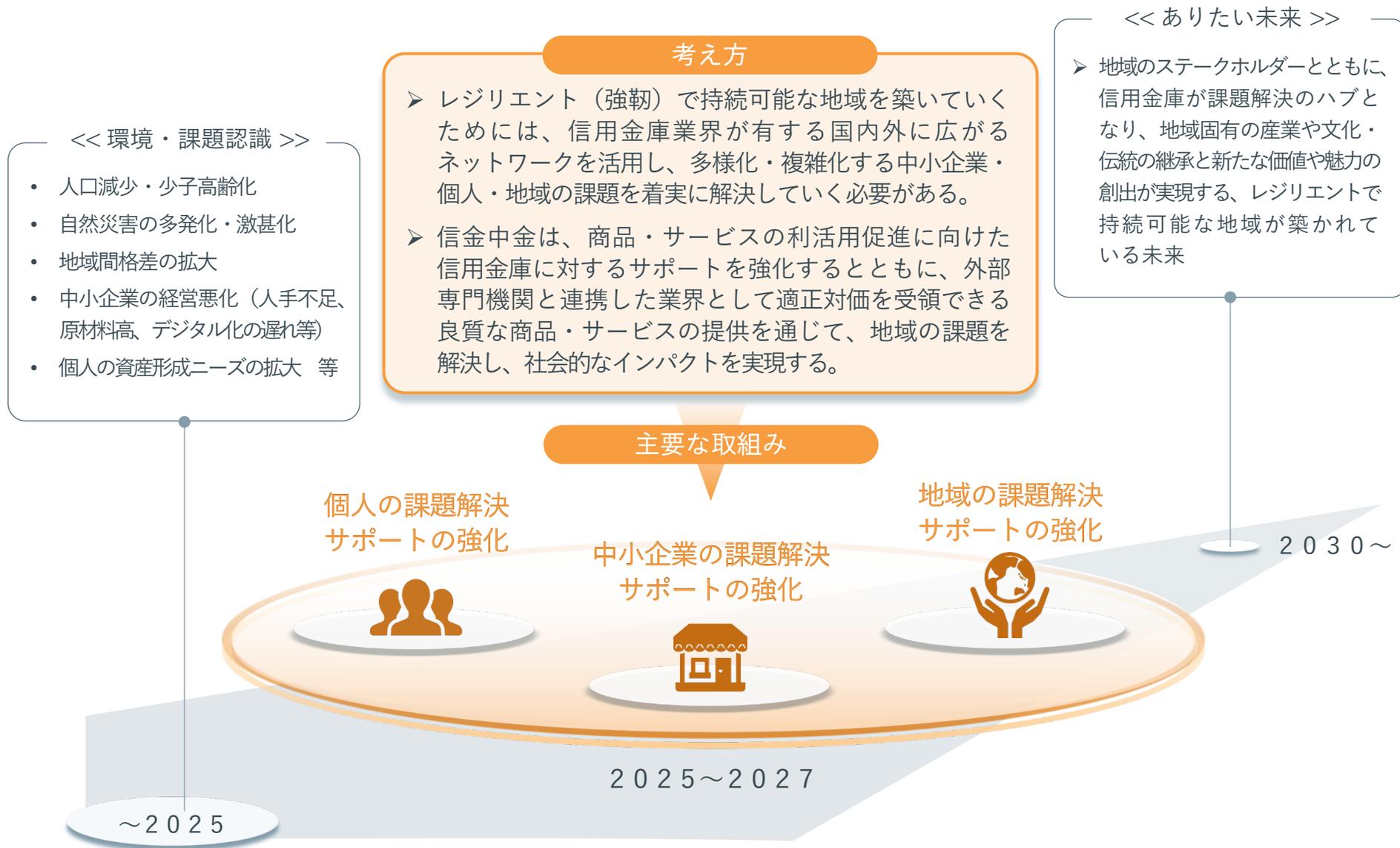


2025~2027

~2025

2030~

主要な取組み	取組みの方向性	重点施策
<p>信用金庫の生産性の高い業務運営基盤の構築</p> 	<p>▶ 業界団体等と連携し、信用金庫業務の革新的な共同化・集約化やDX・デジタル化の促進、知の共有機会の拡充等を通じて、信用金庫業務の生産性向上に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人事、総務、証券決済、相続等の新たなミドル・バック業務の共同化・集約化 ・ 各信用金庫が有する知見等の共有機会の拡充 ・ 業界データを活用した効果的な業務運営支援 ・ デジタルインフラの整備支援 ・ サイバーセキュリティ対策支援の強化
<p>信用金庫経営を支えるコンサルティングの強化</p> 	<p>▶ 財務・収益・人財に関するコンサルティング機能等の拡充とコンサルティングを担う人財の体系的な育成を通じて、信用金庫の経営基盤のさらなる強化に取り組む。</p> <p>▶ 営業店を主体として、本部・グループ各社が積極的に関与し、信用金庫との接点を一層強化したグループ一体的なコンサルティング活動を推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資金運用・市場リスク管理、信用リスク管理、人事戦略に関するコンサルティング機能の強化 ・ 収益機会拡充に向けた商品・サービスの提供 ・ コンサルティング推進態勢の強化 ・ コンサルティングを担う人財の必要スキルの明確化および体系的な育成
<p>信用金庫の人財育成の強化</p> 	<p>▶ 業界団体等と連携し、対面とデジタルを効果的に活用した専門的かつ幅広い研修機会の提供等を通じて、信用金庫経営を支える人財育成の強化に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 信用金庫役職員に対する実務研修機会の拡充 ・ 信用金庫職員の自律的なキャリア形成に向けたSelsの機能強化 ・ 信用金庫の業務改革を担うDX人財の育成 ・ 業界のブランディング強化に向けた広報活動の実施および情報発信の強化



主要な取組み	取組みの方向性	重点施策
<p>中小企業の課題解決 サポートの強化</p> 	<p>➤ 中小企業のライフステージに応じた商品・サービスの提供を通じて、人手不足やDX促進、販路拡大や事業承継等の中小企業が抱える様々な課題解決に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 人手不足の課題解決やDX促進に向けた商品・サービスの強化 • 信用金庫のニーズを踏まえた海外拠点網の拡充 • 創業や成長に関する支援の強化 • 販路拡大や事業承継・M&Aに関する支援の強化
<p>個人の課題解決 サポートの強化</p> 	<p>➤ 個人のライフステージに応じた商品・サービスの提供を通じて、資産運用立国の実現に向けた顧客の安定的な資産形成や次世代への円滑な資産承継等に取り組む。</p> <p>➤ DX・デジタル化等を通じて、信用金庫の個人金融業務の効果的・効率的な推進の支援を強化する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • しんきんDBや預かり資産ナビ等を活用した効果的・効率的な業務推進支援の強化 • 顧客の安定的な資産形成および若年層に対する金融教育の支援の強化 • 商品提供等による円滑な資産承継・相続にかかる支援の強化
<p>地域の課題解決 サポートの強化</p> 	<p>➤ 外部専門機関や自治体等の地域のステークホルダーとの連携を通じて、レジリエントで持続可能な地域づくりに取り組む。</p> <p>➤ 「しんきんグリーンプロジェクト」を通じて、地域の省エネルギー化・脱炭素化の推進に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 自然災害や人口減少に対応した地域づくりへの取組みの強化 • 地域や中小企業の省エネ化・脱炭素化の推進 • SCBふるさと応援団を通じてリレーションを強化した自治体との連携施策の実施
<p>主要な取組みに共通する 方向性と施策</p>	<p>➤ 商品・サービスの実効性向上と利活用促進に向けた信用金庫に対するサポートの強化を通じて、営業店を起点に、本部・グループ各社を主体として、業界として適正対価を受領できる良質な商品・サービスの提供に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 実効性向上に向けた商品・サービスの評価・効果検証・見直しに関する枠組みの強化 • 地域や信用金庫の特性を踏まえた商品・サービスの導入・推進にかかる支援の強化

<< ありたい未来 >>

- 誇りと使命感にあふれた多様な人財の活躍によって、強固な収益・財務基盤、安定的な業務・システム運営を実現し、信金中金が業界内外から高い信頼と評価を獲得し、持続的に成長している未来

考え方

- 信用金庫の中央金融機関としての役割・機能を持続的かつ安定的に発揮していくためには、信金中金がこれまで以上に「成長」していく必要がある。
- 信金中金は、協同組織金融機関の特性を踏まえたガバナンス改革を「成長」のドライバーとし、人財戦略の強化、収益・財務基盤の強化・拡充、生産性の高い業務運営態勢の構築に取り組み、信金中金の「成長」を加速させる。

<< 環境・課題認識 >>

- 国内外の金融政策の転換
- 地政学リスクの高まり
- 信用金庫のニーズの多様化・高度化
- 信金中金における専門的かつ多様な人財の育成・確保
- 信金中金の業務範囲の拡大 等

主要な取組み

収益基盤・財務基盤の強化・拡充



人財戦略の強化



生産性の高い業務運営態勢の構築



協同組織金融機関の特性を踏まえたガバナンス改革
事業ポートフォリオ・人的資本経営・RAF・グループガバナンス

2025~2027

~2025

2030~

主要な取組み	取組みの方向性	重点施策
<p>人財戦略の強化</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 人財への積極的な投資と多様な人財が活躍できる態勢整備等を通じて、役職員の自律的な成長とウェルビーイング（心身の健康や社会的つながりにおける良好な状態）を促進し、人財と組織のパフォーマンスの最大化に取り組む。 経営戦略を踏まえた人財を育成するため、信金中金の柱となるコンサル・収益・システム分野の人財育成強化に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ベーススキルの明確化・能力開発機会の拡充および多様な人財が活躍するための態勢整備 信金中金の柱となる分野の専門人財の育成強化 自律的なキャリア形成を促進する取組みの強化 経営理念や目指す姿の浸透・実践に向けた対話機会の拡充
<p>収益基盤・財務基盤の強化・拡充</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 市場環境に応じた機動的なALM運営と信金中金の強みを活かした貸出推進、クレジットやオルタナティブ資産への投資等を通じて、金利リスク耐性を意識した投融資ポートフォリオを構築し、市場変動に左右されにくい収益基盤・財務基盤の強化・拡充に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 機動的なALM運営と金利リスク耐性を意識した投融資ポートフォリオの構築 サステナブルファイナンスの拡充 コーポレート、プロジェクトファイナンスの推進態勢の強化および収益性の向上 将来的な収益の柱としての機能発揮に向けたオルタナティブ投資の強化
<p>生産性の高い業務運営態勢の構築</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 生成AIの活用や業務のスクラップ、システム戦略の見直し等を通じて、アセットライトで生産性の高い業務運営態勢の構築に取り組む。 信用金庫の中央金融機関としてコンプライアンスを徹底し、業務の堅牢性・持続性の維持・向上に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 生成AIのさらなる活用 業務改善・スクラップを通じた業務の効率化および中長期目線でのシステム戦略の見直し コンプライアンス、BCP・BCM態勢の強化 安定的な事務・決済・システム運営等を通じた信金中金の高い信用の維持・向上



協同組織金融機関の特性を踏まえたガバナンス改革 < 成長を加速させるドライバー >

事業ポートフォリオ

- 信金中金の柱となる分野への経営資源の優先的投下

人的資本経営

- 経営戦略と連動した人財ポートフォリオの構築

RAF

- 財務の健全性、収益の安定性、資本の効率性のさらなる向上

グループガバナンス

- グループマテリアリティと連動した経営戦略の推進と内部統制の強化

II - 8. 財務目標および非財務目標（代表的なKPI）

信用金庫の中央金融機関としての役割・機能を持続的かつ安定的に発揮するとともに、重要な社会課題に対するインパクトを実現するため、以下の財務目標および非財務目標(代表的なKPI)の達成に取り組む。

	(参考) 2024年度実績	財務目標
中期的な目標収益水準	親会社株主に帰属する 当期純利益 424億円	450億円程度
(参考) 維持すべき経営指標	連結自己資本比率(国内基準) 23.40%	15%以上
	配当可能限度額 3,097億円	2,000億円以上
重要な社会課題 (グループマテリアリティ)	インパクト	非財務目標(代表的なKPI)
地域産業の発展と日本の成長	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 中小企業の稼ぐ力の強化 ◆ ファイナンスを通じた持続可能な社会への貢献 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 中小企業の販路拡大支援件数 11,000件〔中計期間累計〕
人口減少・少子高齢化社会のニーズへの対応	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 中小企業の後継者不足・人手不足への対応の強化 ◆ 個人の資産形成・承継の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 個人の資産形成・承継にかかる商品・サービス利用者数 80万人〔2027年度末〕
環境問題への地域一体となった取組み	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 地域・中小企業の脱炭素化の促進 ◆ カーボンニュートラルへの貢献 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ DX化・共同化による業界全体の業務時間削減効果 120万時間〔2027年度〕
信用金庫のセントラルバンクとしての金融安定化への取組み	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 信用金庫の経営基盤の強化 ◆ 信用金庫の業務継続態勢の強化 ◆ 信用金庫のDX化・業務効率化の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 信用金庫役職員の研修受講人数 80,000人〔中計期間累計〕
人財の活躍と成長	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 信用金庫職員向け育成機会の拡充 ◆ 活躍する人財の創出 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ エンゲージメント評価指数 2025年度比向上〔2027年度〕
働きがいのある職場づくり	<ul style="list-style-type: none"> ◆ エンゲージメントの向上 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ サステナブルファイナンス累計実行額 5兆円〔2021~2030年度〕
ガバナンスの強化	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 経営の公正性・透明性の確保 ◆ グループ経営管理体制の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 温室効果ガス排出量(Scope1,2) ゼロ/カーボンニュートラル達成〔2030年度末〕

■ 本資料は、信金中金が信頼できると判断した情報に基づき作成したものであり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではありません。

■ また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の信金中金の判断であり、今後、予告なしに変更されることがあります。